

ふれあいと語らいの同窓会



東実同窓会報

NO. 8

発行 第144 東京都大田区西蒲田8-18-1 TEL/ 03-3732-4481

東京実業高校同窓会編集委員会

広げよう 同窓生の環を

同窓会会長 第39期卒 黒田 芳彦



同窓生の皆様、新年明けましておめでとうございます。会長になりまして3年がたとうとしています。3年目の昨年の経済は依然厳しく混迷の時期を脱していません。政治にいたっては新しい選挙制度のもと第二次橋本内閣がようやくスタートしました。これを期に経済の発展を願うばかりです。

在校生の活動には大変楽しませて頂きました。皆様もご承知のように野球部が夏の東京都大会において、大変な熱戦の末ベスト4に進出し、惜しくも準決勝で破れはしたものの、我々卒業生また在校生を含む多くの学校関係者達にさわやかな夢と希望、そしてすがすがしい気持ちにさせてくれました。大変感謝をし、ますますガンバレと応援し今後も野球部の強化を期待しています。

同窓会においては、卒業式、入学式、同窓会定期総会、

同窓会懇親旅行、学生の自主運営による体育祭、文化祭等、どうやら無事にこなしてきました。これも常任幹事の皆様、学校長はじめ先生方の協力のたまものと感謝しています。

さて今後の同窓会といたしましては「広げよう 同窓生の環を」をテーマにますますの充実を図りたく、同窓会より生徒たちへの有意義な表彰・講演会等、又同窓生に対しては戦後の混乱期に卒業証書をもらう事ができなかった先輩達への贈呈等学校側と協力の上、企画運営したいと思います。

なにとぞ学校関係者、並びに同窓生諸君の絶大なるご支援をお願いいたします。終わりにになりましたが東京実業高校の発展と同窓会会員の皆様のご健勝をお祈り申しあげます。



平成8年度 東京実業高等学校 同窓会定期総会 1996.6.16 於 学校大ホール

大自然の中で

日頃は同窓生の皆様には、何かと学校を盛りたてていただき、又多大なる御協力をいただいております事を心より感謝申し上げます。役員の方々には、一年に数回はお目にかかる機会があり、又、年一回の新年会や一泊旅行に御参加の皆様には、楽しい一時を共に過ごさせていただいております、同窓会との強い結び付きを深く感謝している次第です。

さて、平成8年度の一泊旅行も楽しく終わりました、この原稿を書いておりますが、今回は福島県の芦の牧温泉への旅でした。途中「塔のへつり」という名勝を見学しましたが、自然の作り出す岩の芸術は、どんなに優れた人間が立ち向っても決して打ち負かす事は出来ないでしょう。人間が誕生するよりずっと昔に存在していた自然は、永い永い年月を経て今の地球になっていったわけですが、地球のあらゆる所にその昔から存在していた事物を、現代の私たちにも見せてくれています。八月末に旅したカナダでは、何千年も前に存在していた「コロンビア大氷原」を見物しましたが、自分が立っている

理事長 上野 雅子



その足下の氷が、永い永い歴史をずっと見つめ、現代に至っているという事実に感動を覚えました。私たち人間も又この自然の中で、脈々と子孫を残しながら存続していているのだという事を、雄大なカナディアンロッキーの自然の中で、妙に納得した次第です。歴史というものには単に過去の出来事というだけでなく、未来永劫存続して行くものであり、この東京実業高校の74年に及ぶ歴史も又、創始者上野清の精神が、その後の継承者達に受け継がれ、多くの同窓生の方々に影響を与え、今日に至っているのだと思います。自然の力の中では全く無力な人間ですが、それぞれの時代の中で逞ましく生き、この東京実業を卒業した同窓生の方との本当に心温まるお付き合いを通じ、学校が益々発展をとげ、さらに多くの素晴らしい同窓生が巣立っていけるよう願っています。

私の糖尿病生活

学校長 上野 毅



平成8年5月13日～5月17日まで糖尿病で教育入院をした。「校長はそんなに太っていたの？」という声が聞こえて来そうである。実は私はそれについて同じ様に思っていた。糖尿病は腹が出て太っている人がなると。ここ十数年身長182cmに対し、体重77kg～79kgをずっと維持して来た。その為には毎週ジョギングをしいたし、お腹なんぞも出張っていない。丁度よい体型であると思っていた。これが誤解の第一点。そして誤解の二点目は「尿の中に糖が出る人が糖尿病である」これは正しい様で誤り。正しくは糖が尿中にでていなくても血糖値が高い人は糖尿病なのである。血糖値の正常値は食後30分で200mg/dl以下、2時間で120以下である。やせて来るのは、糖尿病になった後の結果であり私の場合も、理想的な体重と思って来たものが、食事は以

前と同じ位食べていたのに、一カ月で2kgの割で減少し続け、さらにやせて、約6ヵ月間で66kgになってしまった。3月末病院で検査の結果、血糖値食後2時間で328である。であるから教育入院をして、インシュリンの注射の仕方と一日の摂取カロリー1800Kcalほどの位の量かおぼえる事。以上の為に入院したのだが、幸な事に、1カ月後の入院時、目に合併症が出ていなかった事、そして血糖値食後2時間で140以下になっていた事等で現在インシュリンは打っていません。私は決してグルメをしてこうなったわけではありませんが現代日本のグルメブームを考えると、将来の日本は心配です。同窓生の皆様が、私を反面教師として健康な生活を送って下さる事を祈って最後に守るべき事や、誤解を書き、ペンを置く。①適度の運動をするのは食事のカロリーを消費する為でなく、インシュリンの出を良くする為に行うのである。②過食、過飲しない。(正常人も一日1800Kcal(含酒)で大丈夫。年齢や身長労働量により変わる)。③お酒を飲んだら穀物類は食べない。④食物のカロリーの知識を持つ(肴は揚げ物をやめてあぶった「いか」等)。

人間の欲と健康？並会録謀宝 對手8坂平



同窓会顧問 第17期卒 村松濱代

人は便利なものを使いだすとそれ以上のものを要求してゆくものです。私が現在の仕事を始めた頃(昭和22年)自転車は大変貴重なもので、手に入れるのが大変でした。品物を得意先に届けるのに自転車もなく手製のリュックサックに入れて担いで運んだものでした。何とか自転車を1台ほしいと一生懸命に働き、やっと手に入れた時の喜びは大変なものでした。そのうちに2輪のオートバイ、3輪車、小型トラックと輸送道具も次第に大きくなり、それも何十台と増えて参りました、これも仕事が世の中の高度成長について行けたからでしょう。

社員も年々増やし、支店も幾つか作り、身体も多忙になってくると自分を運ぶ車が欲しくなり、乗用車を買うような段取りになってまいりました。

世の中も次第に車社会と成り、人間の行動範囲も段々広がり、高速道路や普通道路も次第に整備され益々人間の行動範囲が広くなり、車なしでは生活が出来なくなってきました。

住むには今までは不便であった所でも、車があるので多少駅から遠くても住めるようになり、従って地価も次第に上がり畑、田圃であったところも住宅地として変化してまいりました。

人間は車が便利のために歩くことを忘れ、すぐそこまで行くのにも車で行く習慣をつけてしまいました。これでよいのでしょうか、このままでは人間の脚は次第に退化して子孫に及ぼす影響を考えると大変なことになるのではないかと思います。

私も長い間車と共に生活し、ギックリ腰を患ったり背髄が多少変形して来たと医者に言われ、考えてみますと車に頼り過ぎていたことを痛感し、心を入れ替え、気を引き締めて歩くことを決意し、昨年7月より東海道五十三次を日本橋より歩き終え、今年2月やはり日本橋を起点として、中仙道六十九次に挑戦し、9月15日敬老の日には71歳で京都三条大橋まで歩きました。

印刷物なら、何でもご相談下さい。

株式会社 佐々木印刷所

代表取締役 佐々木 努

昭17・M卒

東京都大田区多摩川1-18-5

TEL (03)3758-0710 FAX (03)3758-2821

民間車検場

東京陸運局長指定第2-637号

各メーカー・新車・中古車・販売・車検・钣金・塗装
☆事故についてのご相談承ります☆

モリ自動車

〒230 横浜市鶴見区市場西中町4-17

☎ 521-4521(代)

FAX. 504-5676

大東京火災海上保険株式会社代理店

代表取締役 森田 洋司 (昭41・M卒)

楽しい室内空間作りのお手伝い

インテリア 遠藤商店

遠藤 孝一

22期 商業科

東京都大田区久が原3-34-12

TEL (03)3752-3027 FAX (03)3752-3359

18:00~24:00まで 第二・第三木曜日は定休日

優雅なお店
(会員制)

咲

東実卒業生
さき 歓迎

32期商業科
藤岡正敏

〒144 大田区蒲田2-19-10
TEL. 3738-8080・2643

平成8年度 定期総会並びに懇親会

外務公使 李陽イリ 同窓会顧問

6月16日(日)午後3時より母校小ホールにて開催されました。関東地方は、一週間前に梅雨に入り天気をお心配していましたが、丁度この日は晴れて逆に暑い日でした。天気も良かった為開催の時刻には、出席予定者の殆どの方が受付が済み、定刻通り開催いたしました。

吉村常任幹事の開会の挨拶で始まり、黒田会長より、この一年間の活動報告の中で若い人達も行事への参加が増えた旨の挨拶がありました。続いて、上野校長先生より学校の近況報告があり、マーチングバンド部の全国大会金賞受賞、バレーボール部の関東大会東京ブロック優勝と運動部の活躍ぶり、新入生の入学状況等、母校の活気に満ちた内容のご挨拶を頂戴しました。

黒田会長が議長に選ばれ、議事に入り第1号議案から第7号議案の審議が行われました。

本年度は、役員改選の年であり、今迄の正・副会長および常任幹事は全員再選され、新たに副会長に41期の滝口房枝さん、常任幹事4名が増員され、総ての議案が満場一致で承認されました。最後に井上常任幹事の閉会の挨拶で終了となり、全員で記念の集合写真の撮影を行いました。

引き続き、5時10分からは、天野副会長の司会で懇親会が開催されました。黒田会長の挨拶で始まり、村松顧問の同窓会の歩み、健康維持の為東海道53次を徒歩

で制覇する途中とのお話し等、上野理事長先生の同窓会の行事や同期会に出席され、卒業生との出会いの楽しみ等、御来賓の東京高校山本同窓会長より、当同窓会の活動や行事の盛大さ等、嘉戸副校長先生より、学校の近況報告等のお話し頂戴しました。校内幹事長の浅賀先生から出席職員、先生の紹介の後、青木相談役の音頭で乾杯をして懇談に入りました。

41期生は、この懇親会に併せて同期会と一緒に実施したので一番多かったようですが、16期から48期までの方々84名、御来賓、学校関係諸先生合わせ95名の方々が出席下さいました。

久々に会った同級生、先輩、後輩と話が尽きず時間の経つのも忘れ、アッと云う間に2時間過ぎてしまいました。この続きは二次会で……と、午後6時に井上常任幹事の閉会の挨拶で終わりました。今回は、総会委員を始め常任幹事の皆様の御協力で、盛大に実施できました。この会報を読まれた方、他にも懇親旅行など同窓会の行事に是非参加され、同窓生同志のコミュニケーションの場として、又情報交換の場として、気軽に参加してください。

最後に、本年度も会場の設営、後片づけをしていただいたバスケット部の村山先生と部員の皆様、御協力ありがとうございました。(白田記)



定期総会・会議



会議後の懇親会

同窓会新役員

平成8年度の定期総会に於いて、役員は下記の通り改選されましたので、ご報告致します。

名誉会長	(学校長)	上野毅	常任幹事	(37期)	斉藤君子
顧問	(17期)	村松濱代	"	(35期)	高橋洋太
"	(27期)	渡辺和彦	"	(39期)	戸田三光
相談役	(16期)	青木茂夫	"	(22期)	遠藤孝一
"	(17期)	佐々木努	"	(25期)	吉村和重
"	(35期)	木村恭久	"	(29期)	箕輪弘数
"	(35期)	後藤光明	"	(37期)	渡辺正信
"	(17期)	野村勝一	"	(37期)	岩永通子
会長	(39期)	黒田芳彦	"	(36期)	足立喜一
副会長	(学校)	嘉戸直民	"	(37期)	白銀正明
"	(34期)	本田位公子	"	(42期)	瀬戸盛義
"	(35期)	川名重士	"	(36期)	栗花東光
"	(42期)	白田佳彦	"	(38期)	田所豊
"	(36期)	天野昇	"	(39期)	多田和人
"	(41期)	滝口房枝	"	(41期)	柴田佐知子
会計	(34期)	本田位公子	"	(35期)	河西八重子
"	(37期)	斉藤君子	"	(40期)	安田正和
会計監査	(16期)	小宮龍雄	"	(48期)	佐藤まり子
"	(23期)	小島目浩	"	(41期)	加藤憲二
事務局	(学校)	米田仁昌	"	(41期)	友田美幸
校内幹事長	(学校)	浅賀英雄	"	(39期)	山中俊子
常任幹事	(18期)	森哲太郎	"	(41期)	米倉美鈴
"	(22期)	井上賢實	"		

東実同窓会は、第1部・第2部・専門学校で構成されて役員が選ばれています。

平成8年度(第72期)新幹事

平成9年3月卒業の同窓会新幹事をご紹介します。

(担任) (各クラス2名)

- 機 A 金子先生……楮畑涼・依田正幸
- B 井上先生……小林誠・宮下哲太郎
- C 河野先生……中村誠一・原敏夫
- D 正田先生……大石拓磨・岩本達也
- E 佐藤(卓)先生……間宮良友・山口貴
- 電 A 青木先生……小松貴幸・星野基
- B 小椋先生……小竹智彦・森田貴之
- 商 A 原田先生……諏訪部祐和・平林文明
- B 岩田先生……植松健一・沢口賢太
- C 田中(保)先生……仲藤宏泰・山森寛之
- D 小野先生……尾崎最・大村浩司
- E 小牟田先生……大池力哉・森一弘
- F 志賀(由)先生……堀広之・三浦孝行
- 普 A 細井先生……市川良・猿渡真樹
- B 森先生……小暮貴重・善場悟

以上15クラス・30名です。今後は同窓会の幹事となつてご協力下さる事を期待します。

赤いくつの詩

銘菓よこはま

横濱西洋館

株式会社 アルベリ

昭23・C卒 山本徳太郎

昭38・C卒 田所 豊

横浜市鶴見区豊岡町7-14 TEL (045)581-5441

- 建築・土木防水工事 -

渡辺商会

代表者 渡邊 正信

37期機械科(専門学校)

横浜市磯子区森6丁目11番20号

TEL (045)761-3010(代) FAX (045)761-9570

平成8年度の同窓会事業予定

平成8年4月8日 平成8年度入学式（正副会長）
 中旬 常任幹事会（本年度の事業計画等）
 下旬 企画総務部会
 5月中旬 総会部会
 中旬 常任幹事会（定期総会等）
 中旬 広報編集部会（会報第8号）
 中旬 旅行部会
 16日★平成8年度定期総会（母校小ホール）
 下旬 広報編集部会
 下旬 旅行部会
 下旬 企画総務部会
 7月上旬 広報編集部会
 中旬 旅行部会
 中旬 企画総務部会
 下旬 常任幹事会（懇親旅行等）
 8月下旬 広報編集部会
 9月上旬 旅行部会
 9月7日～8日★第14回懇親旅行（会津：芦の牧ホテル）
 中旬 広報編集部会

中旬 企画総務部会
 下旬 常任幹事会
 10月4日☆体育祭
 中旬 広報編集部会
 下旬 企画総務部会
 11月3日☆東実祭
 中旬 広報編集部会
 下旬 新年会部会
 12月上旬 常任幹事会（新年会等）
 平成9年1月8日 新年初顔合わせ（正副会長）
 中旬 企画総務部会
 下旬 新年会部会
 25日★新年会（川崎：カメラアホール）
 29日 正副会長と新幹事との昼食懇談会
 2月中旬 広報編集部会
 下旬 広報編集部会
 3月3日 平成8年度卒業式（正副会長）
 ★ 同窓会三大行事
 ☆ 学校行事 以上

平成8年度の収支予算書

自平成8年4月1日
至平成9年3月31日

【収入の部】

【支出の部】

科目	平成7年度決算	平成8年度予算	備考	科目	平成7年度決算	平成8年度予算	備考
前年度繰越金	484,946	727,204	前年度より	事務消耗品費	132,930	400,000	封筒・文具類他
終身会費	5,490,000	6,600,000	新卒業生他	通信費	274,130	350,000	ハガキ・切手等
寄付金	346,000	200,000	事業寄付	印刷費	119,274	250,000	各種行事案内状等
名簿販売代金	3,000	0		会議費	202,893	300,000	各準備会・幹事会等
広告料	66,000	50,000	会報広告	慶弔費	193,865	400,000	卒業生角簡他
受取利息	1,004	2,000		総会費	122,382	200,000	
積立金	500,000	0		懇親旅行費	1,498	50,000	
雑収入	0	796		新年会費	238,753	50,000	
				会報発行費	377,815	500,000	第8号発行
				名簿発行費	0	0	
				助成費	500,000	500,000	母校へ助成
				積立金	4,000,000	4,000,000	周年行事・名簿等
				支払手数料	206	0	振込手数料他
				予備費	727,204	580,000	次年度へ繰越
合計	6,890,950	7,580,000		合計	6,890,950	7,580,000	

スポーツのことなら！

しろかね

白銀スポーツ

白銀 正明

ユニホーム・スポーツ用具

用品・施設・工事一般

カップ・賞品・トロフィー

昭37・M卒

東京都大田区中央8-29-7

TEL (03)3754-8679 FAX (03)3754-4845

- 冷暖房設備・電気設備 -

シタマ設備

有限会社

舌間 寛佳

41期 機械科

横浜市港南区丸山台3丁目30番6号

TEL (045)845-7355 FAX (045)845-2060

学校近況報告



副校長 嘉戸直民

★ 卒業式と入学式

平成7年度の卒業式が3月3日(日)に行われ、機械科176名、電気科88名、商業科195名、普通科86名の合計545名が晴れの卒業証書を手にし、第71期生として巣立って行った。それぞれの進路としては、就職186名・専門学校236名・大学39名・家業その他84名である。

4月8日(月)平成8年度の入学式が行われた。今年度は機械科180名、電気科91名、商業科188名、普通科60名の合計519名を新入生として迎えた。上野毅校長より「不撓不屈の精神を自覚し、きちんとした目標をもって高校生活を過ごしてほしい」との式辞があり、新入生代表唐仁原豊美君の「新入生宣誓」で締められた。

★ 交換留学生の派遣

5月6日(月)生徒代表7名が電気科の須賀寛光先生に引率されて、アメリカのコロラド州ボルダー市に交換留学生として出発した。生徒達はボルダー地区の6つの姉妹校をそれぞれ訪問し、授業に参加したり、また卒業式にも参列した。その後、ワシントン市内観光、グランドキャニオンのハイキング、そしてホノルル観光という貴重な体験を重ね、6月21日(金)全員無事帰国した。昭和43年に第1回の交換留学生を送り出してから今年が第15回目の留学生派遣となった。この間100名を超える代表が太平洋を渡ったことになる。

★ 体育祭・東実祭

10月4日(金)品川大井陸上競技場において、平成8年度の体育祭が行われた。今年度は初めての試みであるが、生徒会が中心となり体育祭を企画・運営した。そ

の結果は進行状況もまずまずで、応援席の父母からも大きな拍手を受け、成功の内に終わった。企画・運営に参加した生徒にとっては貴重な経験を積んだと思う。

11月1日(金)の記念式典で平成8年度東実祭の幕が開かれた。式典では永年勤続の先生方が学校長より表彰された(勤続40年-志賀秀春先生、勤続30年-工藤都志男先生、勤続20年-小野博司先生・志賀由直先生、勤続10年-毛塚卓夫先生・斉藤義雄先生・奈良力三先生・大森壽一さん)。2日目からは一般に公開され展示・飲食など来場者に好評を得た。

★ 野球部が健闘

夏の高校野球で本校野球部が東京京予選においてベスト4に勝ち名乗りを上げた。とりわけ4回戦では昨年の覇者・帝京高校と対戦し、5対4で逆転勝利を納め、スポーツ新聞等で東実の名を高めた。7回戦の準決勝戦では国士館高校に敗れはしたが、素晴らしい戦績を残した。

大田球場や神宮球場に駆けつけていただいた同窓生諸氏に、この紙面をかりて厚く御礼申し上げます。

バレー部は東京代表として第50回関東大会への出場を果たした。6月1日の対伊奈学園(埼玉代表)には惜しくも敗れてしまったが、素晴らしい戦績である。

★ 教職員移動

3月31日付で次の先生方が退職されました。

小島浩先生(商業) 西沢和決先生(体育) 住吉恒雄先生(商業)

4月1日付で次の先生方を新任として迎えました。

小川欽也先生(体育) 小島茂先生(商業) 淵田和良先生(商業) 藤吉大介先生(英語)

当校から歩いて1分

総合印刷 (有)正弘堂印刷

22期卒 井上 實

〒144 大田区新蒲田1-7-15

TEL. (03) 3736-5692

FAX. (03) 3736-5699

負荷トルク計

軽いトルク
MODEL PT-1920/30



- 微小トルクフルスケール 10g-cm(0.01g-cm分分解)
- 10g-cm~100kg-cm広範囲のセンサー
- トルクミーター内蔵
- 記録トルク測定可能、アナログ出力付
- 駆動モーター内蔵、ハンディ型センサー
- あらゆる環境で測定可能、使い易い設計
- パソコン処理でデータ表示可能、オプション豊富

ダイナミックトルク計(回転体のトルク)
MODEL PT-2300



- 50g-cm~240kg-cm広範囲のセンサー
 - 回転数 0.000~30,000rpm フルスケール
 - パソコン処理でデータ表示各種可能
- 無電源ブレーキ(バーモトルク)
- 5g-cm~10kg-cm広範囲、1,000~1,000rpm
 - 1.2kg-cm~40kg-cm広範囲、1,000rpm

株式会社 プロテック

〒228 神奈川県横浜市高津台8丁目4番地3号
TEL. 0427-41-7690 FAX. 0427-48-2145

代表取締役
天野 昇
(昭和36年)

学校行事 ～この一年間～

- 平成8年 4月6日 始業式(第1学期)
- 8日 入学式(平成8年度入学)
- 5月6日 交換学生出発 帰国6月21日
- 10日 1年生研修宿泊旅行(4泊5日)
- 2年生 社会見学・スポーツ大会等
- 14日 3年生 " " "
- 6月10日 開校記念日(創立74年目)
- 12日 生徒総会
- 22日 先生と生徒の懇談会
- 7月5日 期末試験 9日迄
- 19日 終業式
- 22日 求人票閲覧(就職相談) 30日迄
- 8月20日 " (") 28日迄
- 21日 普通科夏期講習会 31日迄
- 9月1日 始業式(第2学期)
- 17日 就職試験開始
- 10月4日 体育祭(大井競技場)
- 16日 高校入試説明会 18日迄
- 11月3日 東実祭(毎年11月第1金土日)
- 20日 生徒会役員選挙

- 平成8年11月29日 期末試験(2年生) 12月3日迄
- 12月4日 期末試験(1・3年生) 7日迄
- 4日 2年生修学旅行(九州) 16日迄
- 11日 普通科 冬期講習会 20日迄
- 21日 終業式
- 平成9年1月8日 始業式(第3学期)
- 23日 推薦入学試験 翌日発表
- 25日 卒業試験 29日迄
- 2月15日 一般入学試験 17日発表
- 3月3日 卒業式
- 4日 学年末試験 7日迄
- 9日 スキー教室 13日迄
- 10日 普通科 春期講習 20日迄
- 21日 終業式

以上は主な行事のみ。本校では種々検定、資格試験をすすめている。

- 工業系：アーク溶接技能検定・ガス溶接技能検定・有機溶剤作業主任検定・移動式クレーン玉掛け技能検定・電気工事士・ラジオ音響技能検定・計算技術検定
- その他：珠算検定・簿記検定・ワープロ検定・英語検定・旺文社進学模試・漢字検定

全国高校野球東京大会

—— 帝京に勝ったが ——

夏の大会は、あれよあれよという間に勝ち進み、ついに昨年の全国王者帝京高にも勝ってしまいました。選手、ベンチ、スタンドの三者が一体になったことがベスト4進出の最大の理由だと思います。

全国高校バレーボール大会

—— 東京代表となるが ——

初戦はシード校となり続く4試合は2対0と快調に勝ち進んだ。残る決勝までの二試合は2対1と接戦ながら打ち勝ち、ついに東京代表となった。

野球部対戦状況

初戦	対 京華	10 - 2
2 戦	対 海城	5 - 2
3 戦	対 東工大付工	11 - 4
4 戦	対 帝京	5 - 4
5 戦	対 正則学園	6 - 0
6 戦	対 日体荏原	2 - 0
準々決勝		
7 戦	対 国士館	0 - 10
準決勝ベスト4		

バレーボール部対戦状況

初戦	シード	セット
2 戦	対 東京工業	(2 - 0)
3 戦	対 府中東	(2 - 0)
4 戦	対 目黒	(2 - 0)
5 戦	対 狛江	(2 - 1)
6 戦	対 開成	(2 - 1)
7 戦	対 農大一	(2 - 1)

東京都代表

対 埼玉県 伊奈学園 (0 - 2)

商業科報告

今春、商業科教諭として長年勤められた小島浩先生並びに住吉恒雄先生が退職されました。小島先生は42年間、住吉先生は32年間の長期に渡り、本校商業科は言うに及ばず、東京実業高等学校の中心的存在として活躍され、本校の発展に多大な寄与をなされてきました。同窓会会員の皆様におかれましても、小島・住吉両先生と担任として、またクラブ顧問として、在学中多くの思い出を共有された方も数多くいらっしゃると思います。今春惜しくも本校を退職するにあたり、本校有志で設けられた「送別会」には、ほぼ全教職員が参加し、その長年の功労をたたえ、長年のご指導に対する感謝の意を表しました。

商業科長 小畑 雅一



小島先生は今後も本校商業科非常勤講師として勤務され、また住吉先生は長年研究されてきた経営の知識を生かして活躍されると聞き喜んでおります。第二の人生を益々有意義なものにさせていただきたく、後輩一同願ってやみません。

なお、商業科には今春両先生の後任として小島茂先生と淵田和良先生が着任され、早くもその情熱を在校生に向け、日々指導に取り組んでおります。この二人を新に加え、今後も退職された両先生に褒めて頂ける商業科とすべく、商業科教員一同頑張っていきたいと考えておりますので、同窓会会員の皆様の変わらぬご支援を宜しくお願い致します。

機械科報告

現在、本校の機械科は1学年4クラス、2学年4クラス、3学年5クラスの600余名の生徒が在籍しており、毎日、勉強・クラブ活動と意欲的に活動をしています。さて、今回は機械科のカリキュラムとその内容について紹介します。

カリキュラムについては別表を参考にしていただくとして、その中でいくつかの内容について紹介していきます。

基礎科目は、以前とあまり変わっていませんが工業全体を幅広く知るという意味で工業理数、コンピュータ関係で情報技術という科目が導入されています。

また、工業基礎・機械実習・実験という以前から行われている教科にも、パソコンを使って入力する工作機械が多く導入されており代表的なものとしては放電ワイヤーカット・NC旋盤・マシニングセンター・ロボットなどがあります。その他、ソフトを使っての文章作成、表計算、CAD（製図）etc.の授業を行っております。

一般家庭にも数多くパソコンが普及し、インターネット、電子メールと活用範囲が広がっている現在、授業の在り方、設備の充実がこれからの学校の課題であるとおもわれます。

機械科長 千田 一雄



教科・科目		1年	2年	3年	教科・科目		1年	2年	3年
国語	国語 I	3	1		保健 芸 英語	体育	2	2	3
	国語 II					保健	1	1	
	国語表現			3		芸	工芸	2	
地理	現代文		2		英語 家庭	英語 I	3		
	古典					英語 II		2	3
	地理 A	2				O・CB		1	
歴史	地理 B				小計	生活一般			2
	世界史 A		3			小計	19	17	18
	世界史 B					機 械	工業基礎	4	
日本史 A				機械実習			4	4	
日本史 B				機械製図			2	2	
現代社会				工業数理	2				
公民	政経		2		情報技術		2		
数学	倫社		2		課題研究			2	
	数学 I	4			機械工作	2	2	1	
	数学 II			3	機械設計	2	2	2	
	数学 A		3		原動機		2	2	
理科	数学 B				計測・制御		2		
	物理 I A	2			電気基礎				
	化学 I A		2		小計	12	14	13	
	生物 I A				特別活動	1	1	1	
地学	地学 I A				H・R	1	1	1	
					合計	33	33	33	

電気科報告

電気科を卒業した卒業生の皆さん、今も頑張っていることと思います。

在学中に、いくつかの資格試験に挑戦した経験が何かの役に立っていますか。特に、国家試験である第二種電気工事士に合格するために長期間、放課後の講習会で努力したことがいろいろな面で役に立っていると思います。今年は2、3年生で12名が合格しました。

また、夏の試験休みに行っている奥只見発電所見学旅行は、皆さんの見た水力発電所が工事の関係で、今年は柏崎原子力発電所に変更になりました。(この柏崎原子力発電所は、9月に水漏れ事故でニュースになったところです。)



普通科報告

普通科設立20年目にして、筑波大学に合格者を出した。生徒、担任、教科担任、全てが一体化し、合格に向けて努力した結果である。しかし、このことについて満足しているわけにはいかない。生徒自身の希望に沿った大学に、より多く合格させることが普通科の目標だからである。学習合宿、夏期、冬期、春期の学習はもちろんだが、大学受験は、全国が対象になるため、その情報を生徒個人も理解し、自分なりに具体化してしていかなければならない。そこで、2年生は6月に、1年生は9月に、予備校の先生に依頼し、「進学講演会」を開催している。内容は、各大学の合格基準、さらに大切なことは、2年生として、1年生としてどのように学習をして大学合

S	S	普通科			A	卒業	
	S	普通科				B	卒業
BF	BF	普通科			S	A1	卒業
I	I	普通科				A1	卒業
I	I	普通科				A1	卒業
EE	EE	普通科					卒業

吉野梓業



電気科長 横幕正一

教科の面では『課題研究』を今年から3年生で取り組んでいます。この教科は実習と同じで、4ブロックに分けて「光通信」「工作」「高圧工事」「インバータ」の実験・実習を取り入れています。

話は変わりますが、新聞・テレビを見ていると今、新しい流れが生まれているように感じます。それは、高校を卒業した人、大学を中退した人が会社を造り活躍しているのです。今の大企業のすきまをぬう企業、もっと人に役立つ企業が生まれるようになってきたと思います。

これからも、卒業生の皆さん頑張って下さい。



普通科長 北井邦寿

格へ自分を向けたらよいか、ということだ。全体的に部分的に丁寧な話しぶりに生徒も真剣に聞き、質問もたとえば「グラフをしてかえると、疲れて学習もあまりしない。どうしたらよいか。」という具体的な悩みもあった。充実した1時間の講演会であった。

大学合格へのプログラムは、学習だけでは成就しにくい。個々の生徒の“人間”を研究し、その生徒に合った計画を3年かけてやり遂げ、初めて“合格”の文字が見えてくるのである。



新 生徒会長



普通科2年 原田 雄介

11月20日の生徒会役員選挙で平成9年度の生徒会会長に当選した普通科2年B組の原田雄介です。

前々回の生徒会では部員(3役以外の広報部)として、前回は副会長として2年間弱生徒会活動をして来ました。僕は中学生の時にも生徒会長を経験しましたが我が高校の生徒会の責任の重大さに驚きました。体育祭、東実祭そして3年生を送る会、新入生を迎える会、あらゆる行事を生徒会が企画し、あるいは各委員会に指示をだし、行事を成功させているのです。僕はこのようなシステムがしっかりできているのは先輩方や、生徒会に協った先生方の力があってこそだと言う事を実感しています。いくらその代の生徒会にメンバーが揃っていても、経験やシステムが無ければ行事は成功しないのです。

今年、体育祭実行委員会が発足してより生徒会主体の行事へと体育祭が変わりました。来年は2年目と言う事で昨年の反省をもとによりスムーズに活動させて行きたいと思っています。行事は勿論大事ですが僕は今回生徒会の普段の活動も改善していきたいと思っています。

「ここはこうしょう。」と思った点が幾つかありました。たとえば他校との交流や月に2・3回生徒会が出す「菩提樹」の内容等です。生徒会の活動のシステムにも細かい改善が必要な所がありました。これらの事が改善できれば活動はより活発になり、そしてきっと生徒皆さんも学校生活が楽しくなるはずで。そしてより多くの生徒が僕達生徒会の活動を理解してそして応援してくるようになることが僕の理想です。僕を含め今回の生徒会メンバー全員やる気のある者が集まってくれました。きっと良い成果を挙げられると思っています。先輩方が僕達に残して下さった伝統を受け継ぎ改善できるところは改善して引き渡したいと思っています。僕達が一番身近に接していた今年卒業される先輩方、そして伝統を築いてこられた同窓会の方々、今年の生徒会も先生方や僕達生徒会全員で共にガンバッていきますので、暖かいご支援、ご声援の程是非宜しくお願い致します。

私 の 進 路



第58期卒 本山 義和

私は特に大学で何を勉強したいというわけではないのですが、とにかく大学へ進学したいという気持ちで高校へ入学しました。入学当時、これから高校でどのようなことを学習していくのかを書店の参考書で調べました。その時、最も得意としていた数学の本を見たところ、三角関数や積分記号など何だか難しいことばかり書かれていて、本当に大学に合格できるのかと思うどころか高校の数学にもついていけないのか不安になるほどでした。

中学の時、私は数学が得意な方でしたが面白いと思ったことはありませんでした。しかし高校の授業を受けていて、特に数学が面白く次第に興味をもち始め、大学で数学を学ぶために数学科へ進学したいと思うようになりました。そのためにも受験勉強をしなくてはならないので、私の好きな数学を中心に一日の勉強時間を次第に増やすようにしました。

高校三年になり受験に対する緊張感が徐々に高まり、いよいよだなという気持ちになりました。しかしやる事が多く勉強しても勉強しても不安な日々が続きました。それでもこの不安は合格することによって一時的に消えると思いがんばって勉強を続けました。

今日、希望通りに大学で数学を勉強できることを嬉しく思います。高校時代の努力が報われたと思いました。

横浜クリーニング

35・C卒 木村 恭久

本店：鶴見区佃野町35-5 ☎584-5757
支店：鶴見区東寺尾6-13-5 ☎584-6293

クロダエンジニアリング株式会社

機械・プラント・電子機器設計
CADソフト及びCAD入力業務全般

〒230 横浜市鶴見区平安町2-3-3

TEL. 045-502-0606

FAX. 045-502-5590

代表取締役社長 黒田 芳彦 (昭39卒)

懇親旅行記

第14回懇親旅行会会津芦ノ牧温泉一泊の旅

有志39名（男子25名・女子14名）学校9時出発まあまあの天気で、途中首都高の事故で渋滞に巻きこまれましたが、昨年好評の田所氏の司会ではじまったバスの中ではガイドさんの出番がないほどカラオケにお酒にと盛り上がり、昼食にはうどんと山菜ご飯でおなか一杯になった。塔のへつりえ（断崖絶壁）という方言だそうです。雨が降りはじめましたが大内宿に着く頃にはやみコスモスなどが咲いていてこちらでは一足先に秋の気配です。

5時芦ノ牧温泉到着。美人女将に向かえられそれぞれの部屋に私達女性群の部屋は最高の見晴しです。6時30分おまちかねの大宴会がはじまり、校長先生、会長の挨拶、理事長の乾杯ではじまり山菜の料理で箸が進み村松先輩の日本舞踊でお酒が進み、そしておまちかね41期

の女性達のフラダンス練習不足であまりうまくはないけれど愛敬♪、そして全員輪になっての盆踊りますます盛り上がりそのいきおいで全員出席の二次会、クラブを貸切ということで飲めや唄えや踊れやの大さわぎ。そして各部屋にて々々宴会、何時に寝たのやら……。

朝は散歩をした人もいてその割には皆んな爽やかな顔をしていた。今日は上天気、ホテル9時出発。会津若松、飯盛山に。おみやげやさんの説明がうまいそして会津陶器へ、稔原湖で昼食、ここでのあゆの塩焼きは特別注文です。やはりこちらにきたらあゆを食さなくてはおいしくいただいてバスは五色沼（毘沙門沼）に向かう、9月なのに風が冷たく沼の水の色が美しく冴えわたっていました。秋が近づいているのがわかります。見学はこれで全部終了。

帰りのバスの中では疲れもしらない41期の連中でゲームにカラオケに又々盛り上がり途中下車の人と別れを告げ道路事情で少し帰り時間がおくれましたが事故も無く無事に帰着、長い長い二日間がこれで終わり担当者一同大変感謝しております。そして今回も又41期15人大さわぎで諸先輩方に大変迷惑をかけ申し訳なく思っています。これに懲りずに又何かの折りにはご一緒させていただきたいと思います。そして後輩諸君も仲間を誘い合ってどんどん参加し同窓会をもっと大きな環にしていきたいですネ。

本当にご協力ありがとうございました。そしてお疲れ様。（友田 記）



飯盛山白虎隊士之墓



五色沼美女五名

同窓会恒例の新年会開催

毎年1月の最終土曜日に新年会が行われています。今年も1月27日(土)に昨年と同じ川崎駅ビル8Fのカメリアホールにて開催されました。

当日は6時開始の所、早い人は5時頃見えて開始前から楽しい雰囲気が溢れる中、記念写真撮影後、36期の足立さん司会で会が始まり、黒田会長、御来賓各位のご祝辞を頂きました。ご祝辞の中で理事長の楽しいお話があったり、大平理事が東実にお勤めになられた頃ご病気になる、生徒や先生方にはげまされたお話があり、又小

島先生が今年度定年ということで花束の贈呈があるなか、乾杯に次ぎ懇談に入る、会場の中央テーブルには和、中、洋、の料理がずらりと並び、飲み物はのみ放題で先輩、後輩、元クラブの仲間のグループをつくり楽しい話が笑いが会場に広がるなか、ゲームがあり参加者の多数の方が賞品を手にしていました。

楽しい時間がまたたくまに過ぎ8時に閉会になりましたがまだなごりを惜しんで二次会に行く人もいました。又来年の新年会で逢いましょう。(栗花 記)



平成8年 東京実業高等学校同窓会 新年会 平成8年(1996)1月27日 於 川崎カメリアホール (16期~36期)



平成8年 東京実業高等学校同窓会 新年会 平成8年(1996)1月27日 於 川崎カメリアホール (37期~44期)

方 円 会

病いを克服して今、元気

13名の意気高し、だが……

平成8年6月15日(土)13時より鶴見、翠華楼にて13名、理事長、校長の両先生がお多忙中参加下されて15名賑やかに開かれた。残念だったのは、理事長が14時頃急いで帰られた。(東京高校の同窓会総会に出席されるため)みんな72才以上、衰えたりといえども意気さかん。しかし、料理は余る。酒の減っていることはかくせない。

9日梅雨宣言されてのなかの晴れ、気温28度むし暑し、3時35分閉会の辞があり、平成9年6月14日(土)13時を採決した、場所は同じ翠華楼。ちょっと、トラブルがあったがまあめで終わった。



明日16日(日)は同窓会総会が15時から学校で開かれる。出席を宣伝勧誘して二人が出た。一人でも仲間が出られることは嬉しい。

今回は各人の過去の病気をのり越えられた経験を発表し合っ、これからの参考にする訳だ。結論は「健康第一」。

次回又、翠華楼にて元気で会おう。

(16期 青木 記)

同窓会の縁でクラス会

～～ がん張る還暦11名 ～～

平成6年35年間余り中断して疎遠になっていたクラス会が、この年の同窓会・新年会が発端となりクラス会を母校の側にある“まるい”にて開催することが出来た。次回2年後に催そうとの提案があり、そして平成8年5月25日JR蒲田駅前「満平」にて宮地先生を招き出席者11名で開会しました。今回は人生の区切りである皆60才還暦の年齢になった。ある者は病院暮らし、ある者は年金暮らし、又ある者は現職して裕福な暮らしをしている者、人さまざま生き方である。話題の中心は何といっても健康についての話題が多く現に今回のクラス会が決まってから入院する人が現れ皆健康には常日頃気を付けていても何時身体に異変が起こるかわからないのが現実であった。この様な事が加味されクラス会は毎年“やろう”と云う声がありお互い絆をしっかりと結びあい有意義なクラス会を過ごした。

我が級は入学時四十数名、卒業時32名そのうち現在住所の判明している方22名、不明者7名、物故者3名となつて居りますが同窓会の皆様へ右記の7名の消息のわかりの方は御一報お願い致します。



指田弘寿・鈴木貞行・大滝(徳永)一朗・山本明雄
・井上清太郎・小林基司・山ノ端一雄

連絡先：〒233 横浜市港南区笹下3-24-1

TEL：045-841-4663

箕輪弘数

(29期 箕輪 記)



追憶

光陰電波より早く半世紀

昭和13年4月東京実業3年陽組に編入、入学した。

当時は新宿区牛込神楽坂近くに住んでいました。飯田橋駅まで約20分、神楽坂を歩いて3年を通学することとなった。

2・26事件(昭和11年2月26日)のあとで誠に戦雲迫る暗い世相であった。

飯田橋から省線で神田で乗り換えて蒲田下車御園の学校まで約1時間位かな？

電車が浜松町を過ぎると雑魚場があって、省線の下を海からの船路が通っており10数船の漁船が通行していた。広場にはすだれにのりが乾かしてあり、磯の香りが車内にただよった。森ヶ崎海水浴場は、にぎわっていたし、大きな「かに」料亭も盛んであった。

羽田辺りは漁師町で船着場には船がひしめき遠浅の海岸では浅網がたくさん採れた。

校庭ぎわすれすれに目蒲線が通り線路の響きで目が外に向く授業であった。

木造二階建ての校舎、校庭の一隅には銃器倉庫があり、菊の紋章を削った三八式歩兵銃がびっしり格納さ



第16期卒 浅川 広司

れて、週二回の軍事教練にわれわれを苦しめました。

毎月一日は興亜奉公日と定められ、全校生は蒲田東口の八幡様まで戦勝祈願に参加しなければならなかった。

銃を担いで野外教練で多摩川原を鶉の木の東京中学まで何回か行った。教官は奈良橋准尉、四、五年の担任は柏谷光徹先生、川勝先生、小野先生、そのほか素晴らしい先生がおられた。

蒲田の町は当時地方の町の感があり、周辺の工場の需要に応じる商店が街をつくり、われわれ学生に思い出深い街であった。

昭和15年の夏の終わり、大雨が降り午前授業で切取り帰途についてが駅まで行くと大通りがひざまで没する水が溢れ靴を脱ぎズボン巻いて歩いたことがあった。近くの養魚場から逃げたと思われる尺余(30cm)の魚が数匹も泳いでいたのを思い出します。

16年卒業～進学～繰り上げ卒業(学徒出陣)～中国戦線～負傷～復員。慌ただしく青春は散って行った。

残ったのは位記「正八位」だけである。

章幸会開催

☆ 蒲田アスターで19名 ☆

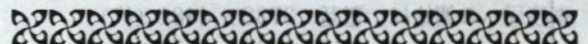
卒業以来永年名幹事として面倒を掛けた級友の病気から級会も暫く中断を余儀なくされて来たが、このところ数年同窓会懇親会の呼び掛けに数名ではあるが出席してくれる様になって来たのを機会に同期会の再建築を急迫計画した。7月6日母校会議室を借用19名が参加した後宴席を銀座アスター蒲田新館に設け久しぶりに会う懐かしい顔に時間を忘れた楽しい語らいの時を過ごした。

終戦直後、又、制度改革等の混乱期にあって卒業証書を手にした者は40余名であったが、その内19名が突然の呼び掛けにも拘らず病を押して、又多忙を繰り合わせ



第25期卒 吉村 和重

卒業以来初めて参加する者もあって誠に意義深いものであった。新に、幹事を選び今後は毎年5月を開催日として永久に親睦を深めて行くことを決議し年老いた悪ガキ共の楽しい一夜は過ぎ去った。尚「章幸会」の名称は我々25期生が卒業後も公私に亘って指導頂いた、故上野幸一先生と現役は引かれたが今も壮健な宮本章二郎先生に対する感謝の気持ちを終生忘れることの無い様両先生の名前から一字ずつを頂いて名付けたものである。その宮本先生がケガの為お招き出来なかったことが、淋しく且つ残念でならなかった。



事 務 局 だ よ り

一人でも多くの卒業生に、見易く、親しまれる会報をモットとして、同窓会機関紙「東実同窓会報」も今回で第8号になります。年1回の発行機関紙を通して卒業生同志、(先輩・同期・後輩)、卒業生と学校との仲を保ちより大きく東実同窓会の環を広げる手助けになれば幸いに存じます。

この欄では、標題の通り、事務的な面について、お知らせ、お願い等を記載致しますので連絡をとり合っ、ご協力くださるようお願いいたします。

★お知らせとご報告★

当同窓会では次の三大行事を毎年欠かすことなく行って居り多数参加され親睦を重ねて居ります。どなたでも参加できますのでお気軽に、お友達をお誘いご連絡下さい。

参加者はご請求ください (FAX: 03-3732-4456) 案内状を発送します。

- 1、定期総会 (毎年6月中旬頃)
 - 2、懇親旅行 (毎年9月初旬土～日一日泊)
 - 3、有志新年会 (毎年1月最終土曜日)
- 学校行事では次の二件があります。(昨年)

- 1、体育祭: 平成8年10月4日 (金)
会場は大井競馬場 (大森よりバス)
- 2、東実祭: 平成8年11月3日 (日) 毎年11月の第1金・土・日曜日 (日曜日は一般公開日)
会場は母校「同窓会の部屋」を設けました。

★ご連絡とお願い★

●終身会費と納入について●

本会の活動をより活発にするためにも終身会費の納入にご協力下さい。納入された方には、名簿に登録し、この同窓会報を送付致します。納入方法は下記の通り。

全国郵便局より口座: 00160-0-0056316 東京実業高校同窓会宛 金額: ¥10,000.- (但し平成2年以降の卒業生は卒業時に、卒業記念費の中に含まれておりますので納入されなくても結構です。

●会員名簿について●

平成4年版の会員名簿ができております。ご希望の方は、事務局にご連絡下さい。

●同窓会報について●

この会報は卒業生の唯一つの機関紙です。年1回の発行です。卒業生誰でも何時でも投稿出来ます。クラス会の呼掛け、報告、近況等にご利用下さい。尚営業されている方は、広告欄もご利用下さい。

(〒144 大田区西蒲田8-18-1)

●その他●

事務局への連絡は、電話 3732-4481 (代) FAX 3732-4456 です。

～ご注意～

最近、同窓会と称して又まぎらわしい文章(電話)で本人の留守中、自宅に「只今同窓会名簿を作成中です。卒業生の住所・勤務先……電話等をお聞かせ下さい。」とか「周年事業で新聞に広告を掲載します。ご協力を」と金銭を取っている業者が居る旨の苦情の電話が事務局に頻繁に入ってきます。これ等は一切事務局とは関係ありません。不審に思われる時は、その場で答えず、後日本人に聞いてから……と相手の電話番号と名前を聞いて、事務局にご連絡下さい。事務局でも大変迷惑しております。お互いに連絡を取り合って充分気をつけましょう。

事務局 (米田)

編 集 後 記

何回となく編集会議を開催してなんとか、ここに会報第8号をお届け致します。

平成8年はバレーボール部と野球部のすばらしい活動があり、皆さんも応援に行かれた事と思いますので活動報告を記載しました。

前回の7号では広告に協力していただいたのに一部に不手際があったことを、この場を借りて深くお詫びいたします。

なお当刊紙のために寄稿くださいました、先生方はじめ会員の皆様方、本当に有難うございました。また紙面の都合で掲載できなかったものもありましたが次号には掲載いたしますので宜しくお願い致します。

次号への沢山のご投稿を只今よりお待ちしております。(多田)

〈編集委員〉

編集委員長	滝 口 房 枝
編集委員	高 橋 洋 太
"	多 田 和 人
"	佐 藤 マリ子
協力者	北 井 邦 寿 (教員)
"	本 田 位 公 子 (副会長)
事務局	米 田 仁 昌

